

かんぱんばい



■設立：不明（昭和60年以前） ■会員数：15人 ■練習：毎週木曜13:30～15:30／のいちふれあいセンター

ノスタルジックで独特な音色を響かせているのは、大正時代に誕生した楽器、大正琴のサークル「やすらぎ会」です。

結成して30年余りになる同会は、腕前の評判も上々です。レパートリーは100曲以上あり、週1、2回は老人施設への慰問や各地区での発表会などに引っぱりだこ。

「老人ホームを慰問して、昔の歌謡曲や童謡を演奏すると、手拍子をしてくれたり一緒に歌ってくれるんです」と練習にも一層、熱が入ります。

大正琴の音色は特に高齢者の方に人気があるとのことですが、講師の名倉さんは「これからは幼稚園などでも演奏して、大正琴の音色を多くの人に知ってもらいたいです」と意欲的でした。

今回は、野市町の
大正琴クラブ「やすらぎ会」です。

のいち大正琴クラブ やすらぎ会



香南の風に乗せて



市教育委員会
夜須町坪井1-1
TEL 57-7521
FAX 55-1045

ただ今、夏休み！！

市内の小中学校が夏休みに入り、10日あまり経ちました。

子どもたちは、部活動やプール、戸外での遊び、それと肝心の宿題など、毎日充実した日々を送っていることと思います。

でも…ちょっと待って！

残り1ヶ月の長い休みを有意義に過ごし、新学期を元気に迎えるため、子どもたちと一緒に生活を振り返ってみませんか？



夏休みだし、ゲームやケータイでついつい夜更かし…。
朝は起きられなくて朝ごはん食べ、お昼までには時間があふれ、少しお腹が空いてきた。そういえば、昨夜のお菓子の残りがあったぞ…。

①大事です！早ね早起き朝ごはん

朝ごはんは、寝ている間に下がった体温を上げて血流を良くし、胃腸や脳の働きを活発にします。また、夜更かしのせいで何となくだるく感じる体をリセットする手助けをしてくれます。

ご家庭でも、学校のある時と同じように朝ごはんの用意をお願いします。また、手軽にとれる朝食の食材を用意しておいて、子どもが自分で調理をするなど、休み中だからこそできることもありますね。

ししじ集も活用してね！



②決まりは守って、安全に！

「友だちの家で遊ぶ」って言って出てきたけど、みんな川へ行くことにした…。

戸外での行動が活発になると、思わぬ事故・事件に巻き込まれる危険も出てきます。

交通ルールを守ること、子どもだけで川や海などで遊ばないこと、出かける時は行き先や帰宅時間を家の人に知らせておくことなど、自分の身を守る行動について、ご家庭でも話し合って約束事を決めておいてください。

③意外と知られていませんが…重要です

16歳未満の子どものゲームセンターへの出入りは、午後6時以降は禁止（★保護者同伴でもダメです！）

※「高知県風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例」第8条による

それぞれの学校から配付されている『夏休みの過ごし方』をよく読んで、安全で健康な夏休みを過ごせるようにしてください。

地域の方へのお願い

夏は日没時刻も遅くなり、子どもたちの活動範囲も広がります。

遅くまで遊んでいる子どもや、危険な場所で遊んでいる子どもがいたら、すぐその場で注意してあげてください。

また、不審者の情報は、お近くの学校または香南市補導センター（☎ 57-7533）までご連絡ください。地域の子どもの見守りにご協力をお願いします。



香南げんきッズ



香南GENK-子始動！

～よさこい鳴子踊り参加に向けて～



今年も暑く燃える夏がやってきました。

香南市こどもよさこい連合会の踊り子たちが、板東市弥先生の指導のもと、8月10日の本番に向けて、よさこい鳴子踊りの練習をしています。

このチームには、学区や校種の境を取り払い人と人との絆の大切さや踊りで一体感を共有することのすばらしさを学ぶことを目的に、市内の小中学生とその保護者約110人が、踊り子・スタッフとして参加しています。

練習開始日の7月2日、島崎隆弘教育長から、この踊りを通じて仲良くなろう。みんなで力を合わせて楽しい思い出を作ろうと激励の言葉をもらい、踊りに磨きをかけている真ん中です。

皆さんの応援をよろしくお願いします。

※次号は参加の報告をする予定です。



昔の人は大変！！

～赤岡小6年生・出前考古学教室～



6月22日（月）、赤岡小学校では高知県立埋蔵文化財センターから講師をお招きして出前考古学教室が開かれました。

子どもたちは、香南市の遺跡や出土品について学んだ後、火起こしと

火起こしは、二人一組で木をこすり合わせて火種を綿に移し、火種ができた火バサミで挟んでグルグルと腕を回して炎を起こします。

初めはうまくできず、昔の人は大変だったがやね～と頑張っていた子どもたちでしたが、次第に要領を得てあちこちから木の焦げるにおいが漂っていました。



勾玉作りでは、荒く削った石をサンドペーパーや割り箸でこすり、手を真白にして一心不乱に磨く姿が印象的でした。

教育伝言板はお休みします。